

大規模な地震が発生したら

もし大きな地震があったら、次のように行動なさることを、お勧めします。発災時刻が「登園前」なら自宅待機しながら、「登園後」なら通勤途上あるいは勤務先等で、以下の行動を行ってください。

（１） まず、ご自身の安全を確保してください

- （ア）自宅や勤務先で被災したらまず、ご自身の安全と子どもなど家族の安全を確保しましょう。自宅や出勤での防災対策（災害時のグッズの常備）を確認します。
- （イ）保育園では最善を尽くして、登園している子どもたちの安全を確保しています。
- （ウ）避難生活は、保育園が最も安全です。被災後に避難場所へ移動することはありません。どんな生活になるかは、別のところで説明します。
- （エ）災害を100%防ぐことはできないでしょう。基本的な考え方は「減災」です。私たち職員と保護者が被災することも視野に入れて、常に「最悪の事態」の想定を更新し続けたいと考えています。

（２） コドモンやホームページ「園からのニュース」でお知らせします

- （ア）安否情報と生活の継続状況を定期的にアップします。
- （イ）SNS中継器の破損停電などでインターネットが通じないこともあるので、NTTの災害伝言ダイヤル【171】（注1）でも園の状況を定期的に録音します。
- （ウ）併せて、学校や会社にいる他の家族の安否情報を確認しましょう。

（３） 自宅の被災状況を確認します

- （ア）電気、ガス、水道、下水、通信などのライフラインの被災状況によって、その後の生活が大きく変わります。
- （イ）まずは帰宅して、被災状況を確認してください。
- （ウ）自宅に辿りつけますか。高層マンションのエレベーターは動いていますか。
- （エ）園にお迎えに来ることができても、家庭で生活できないと意味がありません。家で食糧、水、トイレ、照明、暑さ寒さ対策は大丈夫ですか。

（４） お迎え手段を検討してください。

- （ア）慌ててお迎えに来ないで、前記（３）を確認してからにしてください。

- (イ) 勤務先などからの移動手段を確認しておきます。公共の交通機関は止まっています。どうやって帰宅するか、家族で話し合っておいてください。
- (ウ) 会社には水や食糧はありますか。被災日は勤務先に泊まるのか、徒歩で帰宅するのか、また被災地以外の親戚や知人に依頼するのかなど、帰宅と子どものお迎えの方法をシミュレーションしておきましょう。（ここが「引き渡し訓練」を機会に考えてほしいことです）

(5) 保育園の「避難生活」について

- (ア) 全てのライフラインが断たれた状況（注2）を想定し、発災後、最低3日間は保育園で寝泊まりができるようにします。ただし子どものお風呂はありません。
- (イ) 3日分の飲料水、食糧を備蓄しています。温かい食べ物、スープなど（詳細は変更になることもあります）を提供します。ご飯、麺のバランスをとります。ミルク、離乳食もあります。発災直後は、直火を使わず化学反応で加熱できる非常食を中心に備蓄します。
- (ウ) これらの保存食は、普段の給食の中で試食して慣れていくようにします。
- (エ) 清潔で安全な生活ができるようにします。
 - ① 暑さ対策としては、部屋全体の温度を出来るだけ下げるために、屋上入り口の扉や排煙窓を開けて、熱気を上部階へ逃す空気の流れを作る。打ち水や濡れタオル干しなど気化熱を利用した冷却方法を活用する。体の各部分を触接、冷やすグッズを出来るだけ用意しておく。
 - ② 寒さ対策としては、厚着、毛布、カイロなどを活用する。
 - ③ 排泄の処理は、排泄物の固形化パックを使う。
 - ④ 水や風呂のない生活の中で衛生的な生活を確保する。

(6) いずみこども園への避難について

- (ア) 火事など何らかの緊急の災害で保育園に滞在できなくなったときは「いずみこども園」へ避難します。
- (イ) 自然災害では現在、千代田区は想定しておらず残留避難になっていますが、園長が必要と判断した場合は、園児と職員が一斉移動します。（その訓練はします）

(注1) NTTの災害伝言ダイヤル【171】・・・カードをお配りします。財布や定期券などに入れて、いつも持っていてください。操作に慣れておきましょう。保育園からの録音は職員の練習のために毎月1、15日の午後2時に録音します。

(注2) 全てのライフラインが断たれた状況とは・・・電気、ガス、水道、下水、電話が使えない状態です。照明が点かず、エアコンが動かず、冷蔵庫や電化製品が動かず、調理室が使えません。水道からは水が出ず、下水管もつまりトイレが流れない、電話もインターネットも通じない、ガソリン車、電気自動車は動かず、公共交通機関も止まっています。

作成：2019/06/01

改定：2021/09/15